

「人を生かす経営」とは

人事部長クラブ6月例会

日本生産性本部は6月28日、第97期「人事営」をテーマに、中
部長クラブ」の6月例会を都内で開催（オン
ライン併用）した。当
日は「中小企業が目指

中小企業家同友会全
国協議会は、47都道府
県の中小企業家同友会
の協議体で、「三つの
目的（良い会社をつく
ろう、良い経営者にな
ろう、良い経営環境を
つくろう）」「自主・
民主・連帯の精神」国
民や地域と共に歩む中

小企業」の三つを理念
として、全国で年間約
60000回の勉強会な
どを開催している。
缶パーツメーカーの
同社では、以前、業績
悪化とそれに伴うリス
トラを背景に、会社が
大きく混乱したことが
あった。それを機に、

「ちゃんとした会社に
しよう」と、行動原則、
就業規則、人事制度の
整備、経営情報の従業
員への公開、公私の峻
別（身内の役員を減ら
す等）に取り組んだと
いう。

広浜氏は、「当社で
評価・教育が連動する
仕組みをつくった。民
主では、人を巻き込み
ながら仕事をすること
を重視し、労働環境の
改善や生産性の向上に
取り組んでいる。連帯
では、面接の前に、現
在の仕事の自己評価、
1年間の目標と成果、
異動希望などを記入す

帯の精神』を重視して
いる。自主では、従業
員の『自己卑下』や
『他者依存』の払拭に
努めている。いい仕事
をする環境は自分でつ
くるしかない。職能資
格制度の資格要件表を
整備し、仕事・給料・
評価・教育が連動する

る『自己申告書』を書
いてもらっている。自
己申告書を導入したら
従業員の定着率がよく
なった。経営理念・ビ
ジョン・方針・計画を
連動させた経営方針を
定めて、全社一丸経営
を行っている」と述べ
た。